

# 1998年 大会記録

## 国際

### ◇ショーブ女子国際大会（1月24日、フランス・トゥルクァン）

《ジュニア・シニア》▼46kg級 福場美希（京都・網野高）＝三失、戸井田尚子（茨城・石岡一高）＝三失、幹佳奈子（福岡・三井高）＝3位、坂本日登美（青森・八戸工大大一高）＝4位、▼51kg級 山本聖子（日体パンサーズ）＝2位、▼56kg級 井上夕起子（東京・安部学院高）＝五失、小永吉麗華（茨城・石岡一高）＝二失、▼62kg級 中林教子（東京・安部学院高）＝二失、伊東しのぶ（茨城・水戸葵高）＝四失、佐藤由美子（京都・立命館宇治高）＝三失、▼68kg級 峯島成美（茨城・水戸葵高）＝二失

《カデット》▼46kg級 松岡晴由（静岡・沼津クラブ）＝順位なし、平岡深雪（三重・四日市クラブ）＝3位、野口美香（鹿児島・鹿屋チャンピオン）＝優勝、▼49kg級 世良桃子（福岡・青山スポーツクラブ）＝2位、▼52kg級 吉田沙保里（三重・一志ジュニア）＝優勝、▼56kg級 横山映利子（三重・一志ジュニア）＝2位、▼70kg級 山本真由美（愛知・常滑チビッコ教室）＝5位

《エコリア》▼40kg級 谷沢佳子（岐阜・飛騨高山クラブ）＝順位なし、浜田陽子（千葉・関宿クラブ）＝順位なし

### ◇ポーランド女子国際大会（2月15日、ポーランド・ワルシャワ）

▼46kg級 梅田幸恵（中京女大）＝優勝、清水美里（代々木クラブ）＝4位、▼56kg級 三田寺由香（スポーツ東急）＝3位、沢田千恵（中京女大）＝順位なし、▼62kg級 中谷美沙（中京女大）＝順位なし、▼68kg級 江中和世（中京女大）＝順位なし、越智雅子（中京女大）＝順位なし

### ◇タクティ・カップ（2月17～20日、イラン・テヘラン）

《男子フリースタイル》▼54kg級 笹山秀雄（自衛隊）＝三失、長尾勇氣（日体大）＝二失、▼58kg級 石嶋勇次（総合警備保障）＝7位、関川博紀（日体大助）＝3位、▼63kg級 和田貴広（国士舘大助）＝優勝、栗尾直樹（日体大）＝二失、▼69kg級 勝龍三郎（総合警備保障）＝四失、吉本収（小又設計）＝3位、▼76kg級 小柴健二（自衛隊）＝棄権、友寄隆康（自衛隊）＝三失、▼85kg級 川合達夫（日体大助）＝10位、中尾芳広（自衛隊）＝9位、▼97kg級 小菅裕司（自衛隊）＝二失、矢野通（日大）＝二失、▼130kg級 小幡弘之（警視庁）＝5位、吉田清太郎（国士舘大）＝7位

《男子グレコローマン》▼54kg 級 嘉戸洋（国士舘大助）＝6位、佐々木昌常（自衛隊）＝2位、▼58kg 級 西見健吉（自衛隊）＝三失、西島隆（警視庁）＝4位、▼63kg 級 元木康年（自衛隊）＝3位、西田哲人（自衛隊）＝三失、▼69kg 級 永田克彦（警視庁）＝7位、大井将憲（拓大）＝二失、▼76kg 級 片山貴光（自衛隊）＝4位、伊藤光伸（山梨学院大）＝三失、▼85kg 級 横山秀和（秋田・秋田経法大付高）＝4位、松本慎吾（日体大）＝5位、▼97kg 級 篠崎正二（自衛隊）＝8位、岩渕利則（警視庁）＝二失、▼130kg 級 浜上稔（宮崎・宮崎農高教）＝二失、瀬川浩寿（警視庁）＝8位

◇クリッパン女子国際大会（2月22日、スウェーデン・クリッパン）

▼46kg 級 梅田幸恵（中京女大）＝2位、清水美里（代々木クラブ）＝優勝、▼56kg 級 三田寺由香（スポーツ東急）＝3位、沢田千恵（中京女大）＝5位、▼62kg 級 中谷美沙（中京女大）＝四失、▼68kg 級 江中和世（中京女大）＝4位、越智雅子（中京女大）＝三失

◇ヤシャ・ドク国際大会＝男子フリースタイル（2月28日～3月1日、トルコ・アンカラ）

▼54kg 級 笹山秀雄（自衛隊）＝四失、長尾勇氣（日体大）＝4位、▼58kg 級 石嶋勇次（総合警備保障）＝三失、関川博紀（日体大助）＝三失、▼63kg 級 和田貴広（国士舘大助）＝3位、栗尾直樹（日体大）＝四失、▼69kg 級 勝龍三郎（総合警備保障）＝6位、吉本収（小又設計）＝三失、▼76kg 級 小柴健二（自衛隊）＝二失、友寄隆康（自衛隊）＝三失、▼85kg 級 川合達夫（日体大助）＝二失、中尾芳広（自衛隊）＝二失、▼97kg 級 小菅裕司（自衛隊）＝四失、矢野通（日大）＝三失、▼130kg 級 小幡弘之（警視庁）＝三失、吉田清太郎（国士舘大）＝二失

◇スウェーデン・カップ＝男子グレコローマン（2月28日～3月1日、スウェーデン・ハッセルホルム）

▼54kg 級 嘉戸洋（国士舘大助）＝四失、佐々木昌常（自衛隊）＝三失、▼58kg 級 西見健吉（自衛隊）＝6位、西島隆（警視庁）＝二失、▼63kg 級 元木康年（自衛隊）＝4位、西田哲人（自衛隊）＝三失、▼69kg 級 永田克彦（警視庁）＝5位、大井将憲（拓大）＝三失、▼76kg 級 片山貴光（自衛隊）＝3位、伊藤光伸（山梨学院大）＝三失、▼85kg 級 横山秀和（秋田・秋田経法大付高）＝四失、松本慎吾（日体大）＝二失、▼97kg 級 篠崎正二（自衛隊）＝三失、岩渕利則（警視庁）＝二失、▼130kg 級 浜上稔（宮崎・宮崎農高教）＝四失、瀬川浩寿（警視庁）＝二失

◇アクロポリス国際大会（3月21～29日、ギリシア・アテネ）

《男子フリースタイル》▼54kg級 長尾勇氣（日体大）＝六失、▼58kg級 山本英典（日体大）＝四失、▼63kg級 佐藤将章（国士舘大）＝四失、▼69kg級 本名栄仁（日体大）＝三失、▼76kg級 坂井敏行（山梨学院大）＝二失、▼85kg級 今村雄介（日体大）＝三失、▼97kg級 矢野倍達（専大）＝二失、▼130kg級 吉田清太郎（国士舘大）＝6位

《男子グレコローマン》▼54kg級 豊田雅俊（拓大）＝4位、▼58kg級 笹本睦（日体大）＝二失、▼63kg級 石田亮一（日体大）＝二失、▼69kg級 大井将憲（拓大）＝三失、▼76kg級 伊藤光伸（山梨学院大）＝二失、▼85kg級 松本慎吾（日体大）＝二失、▼97kg級 矢野倍達（専大）＝二失、▼130kg級 鈴木克彰（拓大）＝三失

◇ワールドカップ＝男子フリースタイル（4月4～5日、米国・スティルウォーター）

6位（5敗）

- 1回戦 日本● [1-7] ○イラン
- 2回戦 日本● [0-8] ○ロシア
- 3回戦 日本● [0-8] ○キューバ
- 4回戦 日本● [1-7] ○ドイツ
- 5回戦 日本● [0-8] ○米国

《個人順位》▼54kg級 森田武士（日大）＝6位、▼58kg級 石嶋勇次（総合警備保障）＝7位、阿部三子郎（ペンシルベニア州立大大学院）＝5位、▼63kg級 坪井勇（福島・田島高教）＝6位、▼69kg級 勝龍三郎（総合警備保障）＝6位、▼76kg級 友寄隆康（自衛隊）＝6位、▼85kg級 川合達夫（日体大助）＝6位、▼97kg級 小菅裕司（自衛隊）＝6位、▼130kg級 小幡弘之（警視庁）＝6位

◇コンコード国際大会＝男子グレコローマン（5月23～24日、米国・コンコード）

▼54kg級 嘉戸洋（筑波大大学院）＝2位、佐々木昌常（自衛隊）＝3位、▼58kg級 笹本睦（日体大）＝3位、桜井正人（自衛隊）＝4位、▼63kg級 西田哲人（自衛隊）＝三失、石田亮一（日体大）＝三失、▼69kg級 久保雅紀（山梨学院大）＝四失、▼76kg級 片山貴光（自衛隊）＝5位、▼85kg級 横山秀和（秋田・秋田経法大付高教）＝棄権、杉浦貴（自衛隊）＝三失

◇世界学生選手権（6月2～7日、トルコ・アンカラ）

《男子フリースタイル》▼54kg級 高橋重信（東洋大）＝4位、▼58kg級 井上謙二（日大）＝3位、▼63kg級 山縣健二（日体大）＝3位、▼69kg級 工藤祐士（日体大）＝5位、▼76kg級 鈴木豊（日大）＝10位、▼85kg級 池上裕二（拓大）＝10位、▼97kg級 矢野通（日大）＝6位、▼130kg級 福田清貴（日体大）＝8位

《男子グレコローマン》▼54kg級 安原隆（自衛隊＝国士舘大OB）＝6位、▼58kg級 葭田隆夫（福岡大）＝4位、▼63kg級 飯室雅規（拓大）＝二失、▼69kg級 土田樹史（国士舘大）＝二失、▼76kg級 井田敏徳（日体大）＝二失、▼85kg級 岩井一師（日体大）＝二失、▼97kg級 吉田博満（大東大）＝二失、▼130kg級 小沼寛幸（東農大）＝二失

**◇アジア・オセアニア国際大会（6月5～11日、フィリピン・マニラ）**

《男子フリースタイル》▼50kg級 加藤良二（神奈川大）＝3位、▼54kg級 高橋将治（東洋大）＝4位、▼58kg級 新保道夫（山梨学院大）＝優勝、▼63kg級 伊藤雅也（国士舘大）＝3位、▼69kg級 宇都木伸也（中大）＝優勝、▼76kg級 塚田和幸（東洋大）＝優勝、▼85kg級＝出場なし、▼97kg級 諏訪間幸平（中大）＝3位、▼130kg級＝出場なし

《男子グレコローマン》▼50kg級 浮田康史（神奈川大）＝6位、▼54kg級＝出場なし、▼58kg級 北川裕基（山梨学院大）＝3位、▼63kg級 吉田勝幸（日大）＝6位、▼69kg級 佐藤知明（日大）＝4位、▼76kg級 長岡卓也（拓大）＝2位、▼85kg級＝出場なし、▼97kg級＝出場なし、▼130kg級＝出場なし

**◇アジア・ジュニア選手権（6月12～20日、カザフスタン・アルマトイ）**

《男子フリースタイル》▼49kg級 松永共広（静岡・沼津学園高）＝2位、▼52kg級 鴻巣伸彦（日大）＝7位、▼56kg級 高橋利典（山梨学院大）＝7位、▼60kg級 太田亮介（日大）＝5位、▼65kg級 箕田幸宏（国士大）＝5位、▼70kg級 目時透（国士大）＝8位、▼76kg級 中山博志（日体大）＝6位、▼83kg級 中邑真輔（青山学院大）＝7位、▼90kg級 小平清貴（山梨学院大）＝6位、▼115kg級 宍戸将春（専大）＝6位

《男子グレコローマン》▼49kg級 高坂拓也（埼玉・埼玉栄高）＝5位、▼52kg級 花輪健（東農大）＝6位、▼56kg級 森岡則晴（拓大）＝7位、▼60kg級 平井進悟（拓大）＝2位、▼65kg級 田中文人（日体大）＝5位、▼70kg級 池田秀治（山梨学院大）＝5位、▼76kg級 菅太一（日大）＝5位、▼83kg級 森角裕介（日体大）＝4位、▼90kg級 松本慎吾（日体大）＝4位、▼115kg級 布平学（拓大）＝3位

**◇カナダ・カップ（7月2日、カナダ・グエルフ）**

《男子フリースタイル》▼54kg級 高橋重信（東洋大）＝5位、竹田光一郎（中大）＝二失、▼58kg級 金淵清文（国士舘大）＝6位、橋本秀明（青山学院大）＝三失、▼63kg級 栗尾直樹（日体大）＝5位、▼69kg級 工藤祐士（日体大）＝4位、▼76kg級 大橋理秀（桃山学院大）＝四失、▼85kg級 今村雄介（日体大）＝二失、▼97kg級 土居克也

(日体大) = 二失、▼130kg 級 吉田清太郎 (国士舘大) = 4 位

《女子》▼51kg 級 上林史子 (岩手・宮古商高) = 4 位、▼56kg 級 沢田千恵 (リプレ中京女大) = 優勝、▼62kg 級 江中和世 (リプレ中京女大) = 5 位

◇世界カデット選手権=男子フリースタイル、女子 (7月2～5日、英国・マンチェスター)

《男子フリースタイル》▼42kg 級 山口武尊 (三重・四日市ジュニア) = 三失、▼45kg 級 大庵弘法 (千葉・木間ヶ瀬中) = 計量失格、▼48kg 級 足立孝司 (岐阜県協会) = 三失、▼52kg 級 海老沢信之 (茨城・霞ヶ浦高) = 二失、▼57kg 級 橋井功佑 (京都・立命館宇治高) = 二失、▼63kg 級 鈴木崇之 (京都・東宇治中) = 二失、▼69kg 級 山口徹馬 (大阪・吹田高) = 7 位、▼76kg 級 平沢光秀 (茨城・霞ヶ浦高) = 三失、▼83kg 級 新堀武 (千葉・二川中) = 三失、▼95kg 級 藤永啓吾 (神奈川・日大藤沢高) = 二失

《女子》▼36kg 級 = 出場なし、▼38kg 級 本橋裕子 (静岡・清水五中) = 4 位、▼40kg 級 竹中奈々 (大阪・桜宮中) = 2 位、▼43kg 級 松岡晴由 (静岡・沼津城北高) = 4 位、▼46kg 級 出場なし、▼49kg 級 世良桃子 (福岡・小倉南高) = 優勝、▼52kg 級 吉田沙保里 (三重・久居高) = 優勝、▼56kg 級 横山映利子 (三重・久居高) = 4 位、▼60kg 級 = 出場なし、▼65kg 級 = 出場なし、▼70kg 級 = 出場なし

※男子グレコローマンは7月29日～8月1日に南アフリカ・プロトリアで行われたが、治安上の問題で不参加。

◇世界ジュニア選手権=男子フリースタイル (8月7～10日、米国・ラスベガス)

▼49kg 級 = 出場なし、▼52kg 級 鴻巣伸彦 (日大) = 8 位、▼56kg 級 高橋利典 (山梨学院大) = 8 位、▼60kg 級 太田亮介 (日大) = 11 位、▼65kg 級 笥田幸宏 (国士大) = 11 位、▼70kg 級 目時透 (国士大) = 10 位、▼76kg 級 鈴木豊 (日大) = 18 位、▼83kg 級 中邑真輔 (青山学院大) = 13 位、▼90kg 級 小平清貴 (山梨学院大) = 11 位、▼115kg 級 宍戸将春 (専大) = 18 位

※男子グレコローマンは8月18～21日にエジプト・カイロで開催されたが、治安上の問題で不参加

◇世界ジュニア選手権=女子 (8月8～9日、ノルウェー・フレデリクスタッド)

▼43kg 級 小松崎有紀 (国士大) = 3 位、▼46kg 級 織田智絵 (京都・網野高) = 2 位、▼50kg 級 篠村敦子 (福岡大) = 優勝、▼54kg 級 山本聖子 (神奈川・日体パンサーズ) = 6 位、▼58kg 級 正田絢子 (京都・網野高) = 3 位、▼63kg 級 鈴木亜里 (日大) = 3 位、▼68kg 級 宮本知恵 (中京女大) = 3 位、▼75kg 級 越智雅子 (中京女大) = 4 位

◇世界選手権＝男子グレコローマン（8月27～30日、スウェーデン・イエーブレ）

▼54kg級 佐々木昌常（自衛隊）＝16位、▼58kg級 西見健吉（自衛隊）＝13位、▼63kg級 平井満生（日体大）＝24位、▼69kg級 永田克彦（警視庁）＝23位、▼76kg級 片山貴光（自衛隊）＝15位、▼85kg級 横山秀和（秋田・秋田経法大付高教）＝22位、▼97kg級 岩渕利則（警視庁）＝20位、▼130kg級 浜上稔（宮崎・宮崎農高教）＝19位

◇世界選手権＝男子フリースタイル（9月8～11日、イラン・テヘラン）

▼54kg級 田南部力（警視庁）＝12位、▼58kg級 阿倍三子郎（ペンシルベニア州立大学院）＝19位、▼63kg級 和田貴広（和歌山県庁）＝19位、▼69kg級 勝龍三郎（総合警備保障）＝19位、▼76kg級 小柴健二（自衛隊）＝20位、▼85kg級 川合達夫（日体大助）＝15位、▼97kg級 小菅裕司（自衛隊）＝23位、▼130kg級 小幡弘之（警視庁）＝14位

◇世界選手権＝女子（10月8～10日、ポーランド・ポズナニ）

▼46kg級 池田美憂（日体パンサーズ）＝2位、▼51kg級 篠村敦子（福岡大）＝優勝、▼56kg級 清水真理子（埼玉・埼玉栄高教）＝7位、▼62kg級 鈴木亜里（日大）、▼68kg級 住谷礼子（東洋大）＝9位、▼75kg級 浜口京子（浜口ジム）＝優勝

◇世界チーム選手権1回戦＝男子フリースタイル（10月18～19日、東京・スポーツ会館、神奈川・日体大）

学生選抜● [0-8] ○ロシア、日本選抜● [1-7] ○ロシア

◇クラスマン国際大会（11月21日、カナダ・バンクーバー）

《男子フリースタイル》▼54kg級 長尾勇氣（パライストラ日体大）＝5位、▼58kg級 横瀬二郎（クリナップ）＝4位、▼63kg級 佐藤将章（宮越工芸）＝5位、▼69kg級 織山昭人（自衛隊）＝3位、宮田和幸（クリナップ）＝五失、▼76kg級 柴田寛（農大ク）＝4位、▼85kg級 横山武典（国士舘ク）＝4位、▼97kg級 瀬川浩寿（警視庁）＝3位、▼130kg級 茂野充宏（和歌山ク）＝4位

《女子》▼46kg級 吉村祥子（TBC東京ビューティーセンター）＝2位、▼51kg級 鳥海智恵子（なとり）＝5位、▼56kg級 三田寺由香（スポーツ東急）＝3位、大内真理子（警視庁）＝三失、▼62kg級 南田育子（大阪・吹田市民教室）＝3位、浦野弥生（フリー）＝優勝

◇アジア女子国際トーナメント（11月21日、東京・駒沢体育館）

▼46kg級 清水美里(代々木ク) = 優勝、▼51kg級 篠村敦子(福岡大) = 優勝、▼56kg級 沢田千恵(リプレ中京女大) = 優勝、▼62kg級 正田絢子(京都・網野高) = 2位、▼68kg級 宮本知恵(リプレ中京女大) = 2位、▼75kg級 浜口京子(浜口ジム) = 優勝

◇アンリ・デグレーヌ国際大会=男子グレコローマン(11月29~30日、フランス・ニ

ース)

▼58kg級 木村浩二(海上自衛隊横須賀) = 6位、弓矢完二(三重・員弁高教) = 5位、▼63kg級 西田哲人(自衛隊) = 4位、▼69kg級 斎藤柔(自衛隊) = 二失、▼76kg級 今村浩之(クリナップ) = 2位、▼85kg級 喜村健作(熊本県ク) = 三失、▼97kg級 大同泰政(自衛隊) = 二失、▼130kg級 篠崎正二(自衛隊) = 2位

◇プレ五輪五大陸カップ=男子フリースタイル(12月5~6日、豪州・シドニー)

▼54kg級 田村茂一(自衛隊) = 優勝、▼58kg級 関川博紀(日体大助) = 優勝、▼63kg級 栗尾直樹(日体大) = 8位、▼69kg級 天谷満博(警視庁) = 5位、▼76kg級 太田拓弥(和歌山県協会) = 3位、▼85kg級 中尾芳広(自衛隊) = 6位、▼97kg級 土居克也(日体大) = 3位、▼130kg級 吉田清太郎(国士舘大) = 2位

◇アジア大会(12月12~18日、タイ・バンコク)

《男子フリースタイル》▼54kg級 田南部力(警視庁) = 7位、▼58kg級 石嶋勇次(総合警備保障) = 8位、▼63kg級 矢山裕明(熊本・玉名工高教) = 7位、▼69kg級 勝龍三郎(総合警備保障) = 3位、▼76kg級 小柴健二(自衛隊) = 2位、▼85kg級 川合達夫(日体大助) = 4位、▼97kg級 小菅裕司(自衛隊) = 5位、▼130kg級 小幡弘之(警視庁) = 5位

《男子グレコローマン》▼54kg級 佐々木昌常(自衛隊) = 5位、▼58kg級 西見健吉(自衛隊) = 5位、▼63kg級 平井満生(日体大) = 6位、▼69kg級 永田克彦(警視庁) = 7位、▼76kg級 片山貴光(自衛隊) = 2位、▼85kg級 横山秀和(秋田・秋田経法大付高) = 3位、▼97kg級 岩渕利則(警視庁) = 8位、▼130kg級 浜上稔(宮崎・宮崎農高教) = 5位

国内

◇第1回全日本女子クラブ選手権(3月15日、東京・スポーツ会館)

《順位》[1] 代々木ファイターズ、[2] アミノ・パワフルレディース、[3] 東京ドリーム

**◇全国高校選抜大会（3月27～29日、新潟・新潟市体育館）**

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦（4年連続10度目）、[2] 愛知・星城、[3] 熊本・玉名工、青森・八戸工大一

《個人戦優勝者》▼49kg級 松永共広（静岡・沼津学園）、▼52kg級 足立竜一（岐阜・岐阜工）、▼56kg級 田岡秀規（北海道・岩見沢農）、▼60kg級 谷和典（茨城・土浦日大）、▼65kg級 佐野裕樹（香川・多度津工）、▼70kg級 黒田清志（鹿児島・鹿屋中央）、▼76kg級 小幡邦彦（茨城・霞ヶ浦）、▼115kg級 吉田栄利（鹿児島・鹿屋中央）

**◇世界学生選手権代表選考会（4月12日、神奈川・日体大）**

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 嶋村豊一（日体大）、▼58kg級 井上謙二（日大）、▼63kg級 山縣健二（日体大）、▼69kg級 工藤祐士（日体大）、▼76kg級 鈴木豊（日大）、▼85kg級 池上裕二（拓大）、▼97kg級 矢野通（日大）、▼130kg級 福田清貴（日体大）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 安原隆（自衛隊＝国士舘大OB）、▼58kg級 葭田隆夫（福岡大）、▼63kg級 飯室雅規（拓大）、▼69kg級 土田樹史（国士舘大）、▼76kg級 井田敏徳（日体大）、▼85kg級 岩井一師（日体大）、▼97kg級 吉田博満（大東大）、▼130kg級 小沼寛幸（東農大）

**◇JOC杯全日本ジュニアオリンピック（5月3～5日、神奈川・明学大横浜校舎体育館）**

《男子ジュニア・フリースタイル優勝者》▼49kg級 松永共広（静岡・沼津学園高）、▼52kg級 鴻巣伸彦（日大）、▼56kg級 高橋利典（山梨学院大）、▼60kg級 太田亮介（日大）、▼65kg級 笥田幸宏（国士大）、▼70kg級 目時透（国士大）、▼76kg級 小幡邦彦（茨城・霞ヶ浦高）、▼83kg級 中邑真輔（青学大）、▼90kg級 小平清貴（山梨学院大）、▼115kg級 宍戸将春（専大）

《男子ジュニア・グレコローマン優勝者》▼49kg級 高坂拓也（埼玉・埼玉栄高）、▼52kg級 花輪健（東農大）、▼56kg級 森岡則晴（拓大）、▼60kg級 平井進悟（拓大）、▼65kg級 田中文人（日体大）、▼70kg級 池田秀治（山梨学院大）、▼76kg級 菅太一（日大）、▼83kg級 森角裕介（日体大）、▼90kg級 松本慎吾（日体大）、▼115kg級 増田貴之（大東大）

《男子カデット・フリースタイル優勝者》▼42kg級 山口武尊（三重・四日市ジュニア）、▼45kg級 大庵弘法（千葉・木間ヶ瀬中）、▼48kg級 足立孝司（岐阜県協会）、▼52kg級

級 海老沢信之（茨城・霞ヶ浦高）、▼57kg 級 橋井功佑（京都・立命館宇治高）、▼63kg 級 鈴木崇之（京都・東宇治中）、▼69kg 級 山口徹馬（大阪・吹田高）、▼76kg 級 平沢光秀（茨城・霞ヶ浦高）、▼83kg 級 新堀武（千葉・二川中）、▼95kg 級 藤永啓吾（神奈川・日大藤沢高）

《男子カデット・グレコローマン優勝者》▼42kg 級＝出場なし、▼45kg 級 片山和巳（岡山・倉敷高）、▼48kg 級 出場なし、▼52kg 級 斎藤将士（秋田・秋田経法大付高）、▼57kg 級 川村勝（千葉・木間ヶ瀬中）、▼63kg 級 花田巧（神奈川・向上高）、▼69kg 級 鈴木伸太郎（栃木・足利工大付高）、▼76kg 級 加藤誠之（千葉・西武台千葉高）、▼83kg 級 鴨田卓磨（静岡・修善寺工高）、▼95kg 級 島田康治（栃木・馬頭高）

《女子ジュニア優勝者》▼43kg 級 小松崎有紀（国士大）、▼46kg 級 織田智絵（京都・網野高）、▼50kg 級 篠村敦子（福岡大）、▼54kg 級 山本聖子（神奈川・日体パンサーズ）、▼58kg 級 正田絢子（京都・網野高）、▼63kg 級 鈴木亜里（日大）、▼68kg 級 宮本知恵（中京女大）、▼75kg 級 浜口京子（東京・浜口ジム）

《女子カデット優勝者》▼36kg 級 本橋裕子（静岡・清水ドリームス）、▼38kg 級＝出場なし、▼40kg 級 竹中奈々（大阪・竹中道場）、▼43kg 級 松岡晴由（静岡・沼津城北高）、▼46kg 級 野口美香（鹿児島・鹿屋中央高）、▼49kg 級 世良桃子（福岡・青山スポーツ）、▼52kg 級 吉田沙保里（三重・久居高）、▼56kg 級 横山映利子（三重・久居高）、▼60kg 級＝出場なし、▼65kg 級 久田亜希子（神奈川・横須賀ジュニア）、▼70kg 級 山本真由美（愛知・中京女大付高）

#### ◇東日本学生リーグ戦（5月19～22日、東京・駒沢体育館）

《順位》[1] 日体大（2年ぶり21度目）、[2] 国士大、[3] 拓大、[4] 日大、[5] 山梨学院大、[6] 東洋大、[7] 大東大、[8] 中大

#### ◇西日本学生春季リーグ戦（ ）

《順位》[1] 福岡大（4季ぶり18度目）、[2] 徳山大、[3] 近大、[4]、[5]、[6]

#### ◇全日本女子選手権（5月30～31日、東京・スポーツ会館、明治記念館）

《優勝者》▼46kg 級 清水美里（代々木ク）、▼51kg 級 篠村敦子（福岡大）、▼56kg 級 清水真理子（埼玉・埼玉栄高教）、▼62kg 級 正田絢子（京都・網野高）、▼68kg 級 宮本知恵（リプレ中京女大）、▼75kg 級 浜口京子（浜口ジム）

#### ◇明治乳業杯全日本選抜選手権（6月6～7日、埼玉・朝霞市立総合体育館）

《男子フリースタイル優勝者》 ▼54kg 級 田南部力（警視庁）、▼58kg 級 阿倍三子郎（ペンシルベニア州立大大学院）、▼63kg 級 和田貴広（国士舘大助）、▼69kg 級 勝龍三郎（総合警備保障）、▼76kg 級 小柴健二（自衛隊）、▼85kg 級 川合達夫（日体大助）、▼97kg 級 小菅裕司（自衛隊）、▼130kg 級 小幡弘之（警視庁）

《男子グレコローマン優勝者》 ▼54kg 級 佐々木昌常（自衛隊）、▼58kg 級 西見健吉（自衛隊）、▼63kg 級 平井満生（日体大）、▼69kg 級 永田克彦（警視庁）、▼76kg 級 片山貴光（自衛隊）、▼85kg 級 横山秀和（秋田・秋田経法大付高教）、▼97kg 級 岩瀬和則（警視庁）、▼130kg 級 浜上稔（宮崎・宮崎農高教）

**◇東日本学生春季新人戦（6月18～19日、東京・駒沢体育会館）**

《男子フリースタイル優勝者》 ▼54kg 級 千代延寿（青山学院大）、▼58kg 級 石原一茂（日体大）、▼63kg 級 金渕清文（国士舘大）、▼69kg 級 高塚慎吾（日大）、▼76kg 級 藤田尚志（山梨学院大）、▼85kg 級 木村孝夫（山梨学院大）、▼97kg 級 矢野通（日大）、▼130kg 級 鈴木一人（東農大）

《男子グレコローマン優勝者》 ▼54kg 級 杉谷武志（国士舘大）、▼58kg 級 田中諒介（日体大）、▼63kg 級 伊是名正旭（日体大）、▼69kg 級 吉沢剛（拓大）、▼76kg 級 酒井紀富（拓大）、▼85kg 級 木村孝夫（山梨学院大）、▼97kg 級 矢野通（日大）、▼130kg 級 国安敏也（国士舘大）

**◇全国中学生選手権（6月20～21日、茨城・茨城県立スポーツセンター）**

▼37kg 級 長谷川恒平（静岡・焼津）、▼42kg 級 長江祐介（三重・一志）、▼45kg 級 大庵弘法（千葉・木間ヶ瀬）、▼48kg 級 松嶋一樹（千葉・木間ヶ瀬）、▼52kg 級 足立孝司（愛知・尾西三）、▼57kg 級 鈴木広明（三重・久保）、▼63kg 級 鈴木崇之（京都・東宇治）、▼69kg 級 松井翔（大阪・西山田）、▼76kg 級 松本真也（京都・網野）、▼83kg 級 新堀武（千葉・二川）、▼95kg 級 米山祥嗣（群馬・館林三）

**◇西日本学生新人戦（7月4～5日、大阪・堺市金岡公園体育館）**

《男子フリースタイル優勝者》 ▼54kg 級 松本良（徳山大）、▼58kg 級 水野康平（福岡大）、▼63kg 級 近藤秀樹（福岡大）、▼69kg 級 大岡輝比古（立命館大）、▼76kg 級 山口亮（立命館大）、▼85kg 級 丸山真太郎（福岡大）、▼97kg 級 姫路文博（大体大）、▼130kg 級 田中省一（徳山大）

《男子グレコローマン優勝者》 ▼54kg 級 渡辺義正（立命館大）、▼58kg 級 水野康平（福岡大）、▼63kg 級 近藤秀樹（福岡大）、▼69kg 級 甘利芳紀（近大）、▼76kg 級 木

村成克(福岡大)、▼85kg級 太田竜次(近大)、▼97kg級 沖野圭一(同志社大)、▼130kg級 田中省一(徳山大)

**◇全日本社会人選手権(7月11~12日、東京・駒沢体育館)**

《団体戦優勝チーム》▼実業団 クリナップ、▼クラブ パライストラ日体大

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 長尾勇氣(パライストラ日体大)、▼58kg級 勝目力也(自衛隊)、▼63kg級 佐藤将章(宮越工芸)、▼69kg級 織山昭人(自衛隊)、▼76kg級 柴田寛(農大ク)、▼85kg級 横山武典(国士舘ク)、▼97kg級 瀬川浩寿(警視庁)、▼130kg級 茂野充宏(和歌山ク)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 木村浩二(海上自衛隊横須賀)、▼58kg級 弓矢完二(員弁ク)、▼63kg級 西田哲人(自衛隊)、▼69kg級 斎藤柔(自衛隊)、▼76kg級 今村浩之(クリナップ)、▼85kg級 喜村健作(熊本県ク)、▼97kg級 瀬川浩寿(警視庁)、▼130kg級 篠崎正二(自衛隊)

《女子優勝者》▼46kg級 吉村祥子(TBC)、▼51kg級 辻結花(リブレ中京女大ク)、▼56kg級 三田寺由香(スポーツ東急)、▼62kg級 成国晶子(代々木ク)、▼68kg級 榎本みほ(代々木ク)、▼75kg級=出場なし

**◇インターハイ(8月2~5日、香川・香川町総合体育館)**

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦(9年連続12度目)、[2] 鹿児島・鹿屋中央、[3] 熊本・玉名工、香川・多度津工

《個人戦優勝者》▼49kg級 松永共広(静岡・沼津学園)、▼52kg級 足立竜一(岐阜・岐阜工)、▼56kg級 田岡秀規(北海道・岩見沢農)、▼60kg級 松尾大士(熊本・玉名工)、▼65kg級 嶋崎清志(東京・京北)、▼70kg級 黒田清志(鹿児島・鹿屋中央)、▼76kg級 小幡邦彦(茨城・霞ヶ浦)、▼115kg級 吉田栄利(鹿児島・鹿屋中央)

**◇全国高校生グレコローマン選手権(8月16~18日、千葉・成田市体育館)**

《優勝者》▼49kg級 松永共広(静岡・沼津学園)、▼52kg級 工藤健太(茨城・霞ヶ浦)、▼56kg級 重富和幸(茨城・霞ヶ浦)、▼60kg級 水口貴之(京都・立命館宇治)、▼65kg級 佐野裕樹(香川・多度津工)、▼70kg級 長島和幸(群馬・館林)、▼76kg級 小幡邦彦(茨城・霞ヶ浦)、▼83kg級 福田雄一(茨城・霞ヶ浦)、▼90kg級 福田大樹(宮城・東北工大高)、▼115kg級 加藤賢三(愛知・星城)

**◇全日本女子学生選手権（8月19日、福島・郡山市自然の家）**

《優勝者》▼46kg級 清水美里（東京女体大）、▼51kg級 新海朋子（中京女大）、▼56kg級 沢田千恵（中京女大）、▼62kg級 鈴木亜里（日大）、▼68kg級 宮本知恵（中京女大）、▼75kg級 越智雅子（中京女大）

**◇全国高校女子選手権（8月19日、福島・郡山市自然の家）**

《優勝者》▼43kg級 戸井田尚子（茨城・ガメラーズ）、▼46kg級 野口美香（鹿児島・鹿屋中央）、▼50kg級 坂本日登美（青森・八戸工大一）、▼54kg級 伊調千春（京都・網野）、▼58kg級 菅綾子（埼玉・埼玉栄）、▼63kg級 正田絢子（京都・網野）、▼68kg級 伊東和子（岩手・宮古商）、▼75kg級 金沢美紀（東京・聖徳大付）

**◇全国中学女子選手権（8月19日・郡山市自然の家体育館）**

《優勝者》▼36kg級 谷沢佳子（岐阜・飛騨高山クラブ）、▼38kg級 坂本真喜子（青森・八戸キッズ）、▼40kg級 竹中奈々（大阪・竹中道場）、▼43kg級 大浦梓（青森・青森クラブ）、▼46kg級 平岡深雪（三重・四日市ジュニア）、▼49kg級 池田弘美（新潟・新潟ジュニア）、▼52kg級 伊調馨（青森・八戸クラブ）、▼56kg級 疋田綾子（栃木・みぶチビッコ教室）、▼60kg級=出場なし、▼65kg級 比留間佳江（埼玉・東洋大俱樂部）、▼70kg級=出場なし、

**◇全日本学生選手権（8月27～30日、兵庫・グリーンアリーナ神戸）**

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 嶋村豊一（日体大）、▼58kg級 井上謙二（日大）、▼63kg級 栗尾直樹（日体大）、▼69kg級 川鍋辰徳（日大）、▼76kg級 藤田尚志（山梨学院大）、▼85kg級 今村雄介（日体大）、▼97kg級 松本慎吾（日体大）、▼130kg級 吉田清太郎（国士舘大）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 豊田雅俊（拓大）、▼58kg級 葭田隆夫（福岡大）、▼63kg級 飯室雅規（拓大）、▼69kg級 大井将憲（拓大）、▼76kg級 加納篤（日体大）、▼85kg級 松本慎吾（日体大）、▼97kg級 新井真次（日体大）、▼130kg級 鈴木克彰（拓大）

**◇全日本学生王座決定戦（9月19～22日、東京・駒沢体育館）=団体戦のFILAトーナメント方式**

《順位》[1] 日体大（2年ぶり20度目）、[2] 日大、[3] 拓大

**◇西日本学生選手権（10月2～4日、大阪・堺市金岡公園体育館）**

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 渡辺義正（立命館大）、▼58kg級 森岡寛至

(同志社大)、▼63kg級 葭田隆夫(福岡大)、▼69kg級 奥村英彰(福岡大)、▼76kg級 大橋理秀(桃山学院大)、▼85kg級 鈴木則夫(福岡大)、▼97kg級 沖野圭一(同志社大)、▼130kg級 平松大樹(近大)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 村上暢敏(福岡大)、▼58kg級 森浩也(福岡大)、▼63kg級 葭田隆夫(福岡大)、▼69kg級 大岡輝比古(立命館大)、▼76kg級 井上誠一(東亜大)、▼85kg級 村田浩昭(東亜大)、▼97kg級 丸山真太郎(福岡大)、▼130kg級 角川康成(同志社大)

#### ◇アジア大会代表決定プレーオフ(10月18日、東京・スポーツ会館)

《男子フリースタイル勝者》▼54kg級 田南部力(警視庁)、▼58kg級 石嶋勇次(総合警備保障)、▼63kg級 和田貴広(和歌山県教委)、▼69kg級 勝龍三郎(総合警備保障)、▼76kg級 小柴健二(自衛隊)、▼97kg級 小菅裕司(自衛隊)

《男子グレコローマン勝者》▼54kg級 佐々木昌常(自衛隊)、▼63kg級 平井満生(日体大)、▼85kg級 横山秀和(秋田・秋田経法大付高)、▼97kg級 岩渕利則(警視庁)

#### ◇国民体育大会(10月25~28日、神奈川・逗子アリーナ、明学大横浜校舎体育館)

《成年フリースタイル優勝者》▼54kg級 田南部力(東京・警視庁)、▼58kg級 横瀬二郎(福島・クリナップ)、▼63kg級 和田貴広(和歌山・県教育庁)、▼69kg級 勝龍三郎(山梨・総合警備保障)、▼76kg級 太田拓弥(和歌山・自営)、▼85kg級 横山秀和(秋田・秋田経法大付高教)、▼97kg級 川合達夫(群馬・日体大助)、▼130kg級 鈴木克彰(東京・拓大)

《成年グレコローマン優勝者》▼54kg級 森下浩(和歌山・県教育庁)、▼58kg級 笹本睦(神奈川・日体大)、▼63kg級 平井満生(山梨・日体大)、▼69kg級 宮本健二(滋賀・大津フィジカルクラブ)、▼76kg級 三宅靖志(神奈川・東海商船)、▼85kg級 木下英規(埼玉・自衛隊)、▼97kg級 瀬川浩寿(東京・警視庁)、▼130kg級 浜上稔(宮崎・宮崎農高教)

《少年フリースタイル優勝者》▼49kg級 松永共広(静岡・沼津学園)、▼52kg級 菅原剛志(福岡・三井)、▼56kg級 田岡秀規(北海道・岩見沢農)、▼60kg級 谷和典(茨城・土浦日大)、▼65kg級 嶋崎寿雄(東京・京北)、▼70kg級 黒田清志(鹿児島・鹿屋中央)、▼76kg級 平沢光秀(茨城・霞ヶ浦)、▼83kg級 本田尚基(神奈川・日大藤沢)、▼90kg級 小幡邦彦(茨城・霞ヶ浦)、▼115kg級 登倉公一(香川・)

《少年グレコローマン優勝者》▼49kg級 久古敏章（京都・網野）、▼52kg級 清水聖志人（茨城・霞ヶ浦）、▼56kg級 渡辺康夫（富山・）、▼60kg級 村崎学志（神奈川・）、▼65kg級 佐野裕樹（香川・多度津工）、▼70kg級 長島和幸（群馬・館林）、▼76kg級 仙波勝敏（京都・立命館宇治）、▼83kg級 福田雄一（茨城・霞ヶ浦）、▼90kg級 福田大樹（宮城・東北工大高）、▼115kg級 加藤賢三（愛知・星城）

**◇全日本大学グレコローマン選手権（10月8～9日、東京・駒沢体育館）**

《優勝者》▼54kg級 豊田雅俊（拓大）、▼58kg級 笹本睦（日体大）、▼63kg級 石田亮一（日体大）、▼69kg級 大井将憲（拓大）、▼76kg級 菅太一（日大）、▼85kg級 松本慎吾（日体大）、▼97kg級 新井真次（日体大）、▼130kg級 鈴木克彰（拓大）

《大学対抗得点》[1] 日体大（10年連続10度目）、[2] 拓大、[3] 山梨学院大

**◇全日本大学選手権（11月14～15日、栃木・足利市体育館）**

《優勝者》▼54kg級 嶋村豊一（日体大）、▼58kg級 井上謙二（日大）、▼63kg級 太田亮介（日大）、▼69kg級 川鍋辰徳（日大）、▼76kg級 大橋理秀（桃山学院大）、▼85kg級 今村雄介（日体大）、▼97kg級 松本慎吾（日体大）、▼130kg級 鈴木克彰（拓大）

《大学対抗得点》[1] 日大（3年連続4度目）、[2] 日体大、[3] 山梨学院大

**◇西日本学生秋季リーグ戦（11月28～29日、大阪・大阪府立体育会館第2競技場）**

《順位》[1] 福岡大（2季連続19度目）、[2] 近大、[3] 同志社大、[4] 南九州大、[5] 桃山学院大、（徳山大は出場辞退）

**◇全日本女子オープン選手権（11月21日、東京・駒沢体育館）**

《優勝者》▼46kg級 織田智恵（東洋大）、▼51kg級 山本聖子（日体パンサーズ）、▼56kg級 清水真理子（埼玉・埼玉栄高教）、▼62kg級 植田裕子（天理大）、▼68kg級 住谷礼子（東洋大）、▼75kg級 越智雅子（リプレ中京女大）

**◇東日本学生秋季新人戦（12月4～6日、東京・駒沢体育館）**

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 森岡則晴（拓大）、▼58kg級 安村浩一（中大）、▼63kg級 太田亮介（日大）、▼69kg級 池田秀治（山梨学院大）、▼76kg級 菅太一（日大）、▼85kg級 藤田尚志（山梨学院大）、▼97kg級 小平清貴（山梨学院大）、▼130kg級 矢野通（日大）

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 森岡則晴（拓大）、▼58kg級 鈴木猛雄（山

梨学院大)、▼63kg級 平井進悟(拓大)、▼69kg級 飯塚匡(東農大)、▼76kg級 菅  
太一(日大)、▼85kg級 藤田尚志(山梨学院大)、▼97kg級 税田拓也(拓大)、▼130kg  
級 宍戸将春(専大)

**◇全日本選手権(12月21~23日、東京・代々木競技場第2体育館)**

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 田村茂一(自衛隊)、▼58kg級 関川博紀(日  
体大助)、▼63kg級 栗尾直樹(日体大)、▼69kg級 天谷博満(警視庁)、▼76kg級 太  
田拓弥(和歌山県協会)、▼85kg級 川合達夫(日体大研)、▼97kg級 小菅裕司(日体  
大)、▼130kg級 小幡弘之(警視庁)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 佐々木昌常(自衛隊)、▼58kg級 西見健吉  
(自衛隊)、▼63kg級 元木康年(自衛隊)、▼69kg級 永田克彦(警視庁)、▼76kg級  
片山貴光(自衛隊)、▼85kg級 横山秀和(秋田・秋田経法大付高教)、▼97kg級 瀬川  
浩寿(警視庁)、▼130kg級 浜上稔(宮崎・宮崎農高教)

**◇全国社会人オープン選手権(1999年1月23~24日、埼玉・志木市民体育館)**

《男子フリースタイル優勝者》▼54kg級 戸井田昌教(宮越工芸)、▼58kg級 山下勝  
(志賀町クラブ)、▼63kg級 山本英典(自衛隊)、▼69kg級 宮田和幸(クリナップ)、  
▼76kg級 今村直樹(今村重機)、▼85kg級 中尾昭(加茂実業)、▼97kg級 喜村健作  
(北熊本自衛隊)、▼130kg級 平野誠一(富山県協会)

《男子グレコローマン優勝者》▼54kg級 小高浩二(員弁クラブ)、▼58kg級 富谷光  
雄(自衛隊)、▼63kg級 坂上桂一(群馬県協会)、▼69kg級 宮本泰司(自衛隊)、▼76kg  
級 平田龍之介(石川県協会)、▼85kg級 三原大典(熊本・荒尾養護学教)、▼97kg級  
喜村健作(北熊本自衛隊)、▼130kg級 光岡貴洋(熊本県スポーツ振興財団)